

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また、医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

謹白

記

新規受託項目

● 3343 インタクトI型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact PINP)

検査要項

検査項目名	インタクトI型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact PINP)		
項目コードNo.	3343		
検 体 量	血清 0.3 mL		
採 血 容 器	容器番号01: 汎用容器(分離剤入り)		
検 査 方 法	RIA 2抗体法		
基 準 値	男性	19.5～71.2	
	閉経前女性	14.9～68.8	
単 位	μg/L		
所 要 日 数	4～10日		
検査実施料	170点(「D008」内分泌学的検査の14)		
検査判断料	144点(生化学的検査(Ⅱ)判断料)		

受託開始日

● 平成 23年4月1日(金) 受付日分より

※裏面をご覧ください



札幌臨床検査センター 株式会社
SAPPORO CLINICAL LABORATORY INC.

● インタクトI型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact PINP)

2010年6月より新たに保点収載された骨形成マーカーです。
骨粗鬆症の治療効果判定、経過観察、診断の補助に有用です。

わが国では急速に高齢者人口が増加し、超高齢者社会へ進展している状況の中、骨粗鬆症研究はめざましい進歩を遂げています。

インタクトI型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact PINP)は、I型コラーゲンの生成過程で、骨芽細胞から血中に放出される代謝産物です。

このたび、骨粗鬆症診療におけるコラーゲン代謝に関連する骨形成マーカーとして、初めて保点収載されました。

骨芽細胞分化の初期から産生されるため、骨形成を早期から鋭敏に反映する骨形成マーカーとして期待されています。

新規導入項目と関連する主な検査項目

	骨吸収マーカー	骨形成マーカー
	2574	3343
コラーゲン代謝	I型コラーゲン架橋N-テロペプチド (NTX)[骨粗鬆症]	インタクトI型プロコラーゲン-N-プロペプチド (Intact PINP)
	3168	2195
酵 素 活 性	骨型酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ (TRACP-5b)	骨型アルカリフォスファターゼ (BAP)

診療報酬算定条件

骨型アルカリホスファターゼ(BAP)、インタクトI型プロコラーゲン-N-プロペプチド (Intact PINP)及びアルカリホスファターゼ・アイソザイム(ポリアクリルアミドディスク電気泳動法)のうち2項目以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。